

御隠居 「そうだ。で、絞りを f5.6 にしてごらん」。

熊さん 「へえ。 f5.6 にしやした」。

御隠居 「f8 から f5.6 にした。つまり、一絞り分、絞りを開けたってえわけだな。

絞りを開けたら、シャッター速度を上げるんだから、今度はシャッター速度を一絞り分上げてやる必要がある。熊さんどうなる?」。

熊さん 「一絞り分ってえと、250から500分の1秒にすればいいんですかい」。

御隠居 「そうだ。250分の1から500分の1にすればいい。では更に、 f5.6 から f4 にしてごらん。そうしてシャッター速度も調整してごらん」。

熊さん 「えいど、f4に開きやして…と、するってえと、シャッター速度は1000分の1でやすねえ」。

御隠居 「だいたい、わかってきたようだな。その調子だ。最初f8だったものをf4まで二絞り開いたわけだね。で、それでシャッター速度も250分の1から1000分の1秒まで、二絞り分上げたというわけだ。お前エさんのカメラは2000分の1秒なんてえ高速シャッターは付いているかい」。

熊さん 「なんせ親父の古いカメラですから、1000止まりですなえ」。

御隠居 「どういふことばだ。絞りはそこまでしか開けねえってこった」。

熊さん 「なるほど、こういうふうにするんですね。でも御隠居、もっとバックをボカしてえ時には、どうするんです。シャッター速度の制限があつて、レンズを開放にできねえんだから…」。

御隠居 「ボカしてえ、ボカしてえって、本当にボケが好きな男だねえ。それとも、何かい、あたしに対する当てつけかい?」。

熊さん 「そんなあ、御隠居。腹ん中でそう思っているも、口に出してなんか言えるもんですかい」。

御隠居 「ハッハッハ。被写体前後のボケについて言えば、レンズの絞りだけが関係しているんじゃないやねえ。例えば、絞り値をf4にした同じ50ミリのレンズでも、被写体からのくらい離れて撮影するかで、前後のボケ方がガラツとかわつちまう。

一般的にいって、被写体との距離が近ければ近いほど前後がよくボケ、被写体との距離が離れるにつれて前後がボケにくくなるってえ傾向があるんだ。